



守ろう！自分たちの地域 東温高校で消防活動を紹介

12月17日に行われた県下一斉のシェイクアウト訓練に併せて、県立東温高校では消防団や消防職について知る講習会が行われました。全校生徒が集まった体育館では、東温市消防団員が平時の訓練や緊急時の活動紹介を行い、東温市初の女性消防士である寺田華渚子さんは「仕事は苦しいこと、嬉しいことがある。皆さんが将来の進路を考える上で、消防が候補の1つにあがれば嬉しい」と、自らの経験を交えて仕事の魅力を伝えていました。最後はステージで、生徒ら6人が消防活動を体験する時間も設けられました。



年の瀬の恒例行事 年末夜間警戒

12月26日、市内2か所で東温市消防団と子どもたちが年末夜間警戒を行いました。火災の発生が増加する年末の夜、安心して穏やかな新年を迎えられるように、拍子木を鳴らしながら火災予防を呼びかけて回ります。子どもたちの元気いっぱい声が冬の冷たい空気の中に鳴り響くと、周辺の住民の方が玄関先に出てきて「ご苦労さま、気を付けてね」と声をかける一幕も。慌ただしい年の瀬に、遠くから聞こえてくる「火の用心！」の声を聞いて、ふと落ち着いて過ぎ行く1年を振り返る静かな時間が流れていました。



笑顔いっぱい！ 愛媛FC選手とふれあい給食会

サッカーチーム愛媛FCの選手とのふれあいを通して、体を動かすことの楽しさや健やかな体づくりを図ろうと、12月11日に南吉井小学校でふれあい給食会が開催されました。当日は2年生101名が、市観光大使の河原和寿選手をはじめ、6選手と交流。すばやいパス回しや勢いあるシュートなど、プロの技術を体感した児童は「あんな強いシュートが打てるようになりたい」と目を輝かせていました。その後、選手と一緒に給食を食べた教室では、「愛媛FC！愛媛FC！」と児童達の声援が響いていました。



つながる人権の輪 「人権の花」のプレゼント

昨年12月14日、19日にかけて、愛媛県立みなら特別支援学校中学部の生徒が、市内の事業所や福祉施設を訪問し、10月に市内の人権擁護委員から贈られた「人権の花」をプレゼントしました。14日に訪問したひかり認定こども園では、人権擁護委員と一緒に人権啓発キャラクターKENまもる君、KENあゆみちゃんも参加し園児と楽しく交流を深めました。「人権の花」を贈られた事業所や施設は「大事に飾らせてもらいます」と笑顔で受け取っていました。



学ぼう お金の使い方 西谷小で買い物ゲーム授業

西谷小学校5、6年生がすごろく式の「おこづかいゲーム」を行って賢い買い物について考える授業が12月20日に行われました。市消費生活相談員武田咲枝氏が講師となり、擬似のお金を使って、止まった升目ごとにカードを引いて、お小遣いをもらったり商品を買ったりし、入出金をおこづかい帳に記録していきました。ジュースやノートなどの商品購入時は、3種類の商品からそれぞれの長所・短所を話し合い、利便性や環境への配慮などで判断。生徒は「おこづかい帳でお金を管理する習慣をつけたい」と話していました。



地域に伝わる伝統行事 しめ縄づくり

12月18日、東谷小体育館で1、6年生までが6つのグループに別れ、河之内敬老会と則之内東敬老会の方からしめ縄づくりを教わりました。最初に近藤武由さんから「しめ縄はその形に仲睦まじく輪になってほしいが、ユズリハに子孫が代々家を譲っていきけるようにとの願いが込められています」と説明があり、児童たちは熱心に聞き入っていました。体験の場面では、なかなか思うようにできない児童に「見せとーみ。きれいにできるとよ」と優しく教える姿が見られ、地域のつながりを感じられる1日でした。



東温キッズミュージカルに473人が感動!!

舞台芸術を核とした“アートヴィレッジとうおん構想”。その1つとして制作された東温キッズミュージカルが1月に東温アートヴィレッジセンター シアターNESTで上演されました。



舞台の上で表現した3日間
1月12日の朝、会場の東温アートヴィレッジセンター（見奈良）に集まった子どもたちは、約4か月に渡る稽古を重ね、自信を持って初回上演に臨みました。

開催にあたり加藤市長は「東温市には次世代を担う皆さんが、舞台芸術に身近に触れることができる環境がある。プロのサポートを受けながら本格的なミュージカルを創り上げるといふ、価値ある原体験を刻んでいただきたい」と述べ、出演者や、支えてきた保護者に対して労いと激励の言葉を伝えました。

本作品はダンス部を舞台に制作。学校の統合で部員たちの価値観がぶつかるなか、一流の講師を招き入れるライバル校の存在に対して、生徒たちの心の変化と夢を追いかける姿が描かれています。上演した3日間、舞台を通して精神的にも成長した子どもたちの姿を見て来場した473人は感動に包まれていました。



◇竹内 里菜さん（町東）

東温市民ミュージカル「城ノブ」を含め、4回のミュージカルを経験。オーディションの芝居では、文字だけでストーリーや登場人物の背景をイメージすることに苦戦したが、その分、自分なりにどれだけ表現できるかに挑戦することの楽しさを感じた。

夢はミュージカル女優。やり遂げた3日間に感謝

高校ではダンス部に所属し、「お芝居は本格的に習ったことがありません。これまで出演したミュージカルで、他の人が演技指導されているのを見て、「自分ならこう表現しよう」と考えているくらいです」と話す竹内さん。何でも吸収する姿勢が一番の練習方法のようです。全6回の公演全てに出演し、「はじめは体力やテンションが維持できるか不安でした。毎回の反省会で指導を受けて、「次はこうしよう」と皆で改善点を話し合い最後までやりきることができました。

最後の公演は、全員が力を出せた作品だと思います」と満足な表情を浮かべます。

ミュージカルの道に進みたいと夢をもち、「チャンスがあれば市民ミュージカルにも改めて挑戦したい」と話す竹内さん。勉強と部活、稽古の両立では、自己管理に気をつけたそう。「送り迎えや衣装の製作をしていただいた家族や周りの人の支えがあったからこそやり遂げられたと思います」と周囲への感謝を話してくれました。

まちの「今」を知って、スイッチON!

Switch Toon



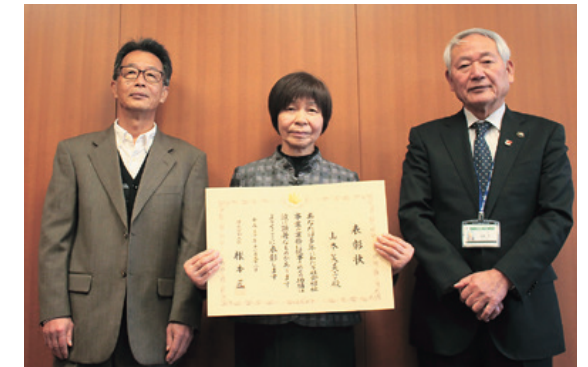
12月30日、横河原水天宮で毎年恒例の干支送りが行われ、今年の干支である亥（い）年の大絵馬が奉納されました。この絵馬は、東温高校美術部2年生の5人が主力となつて構想に一週間、制作に10日間を費やし描いた力作です。部長の大西咲良さんは「実際に白猪の滝に行き、そこからイメージを膨らませて描きました。私の祖父が亥年生まれなので、この絵馬に描いたおじいさんとおばあさんの猪のように、仲睦まじく長生きしてほしいという願いを込めました」と話してくれました。



素晴らしい新年を祈って
水天宮大絵馬奉納



長年の功績に感謝
山本さんが大臣表彰を受賞



東温市内の障害者支援施設（三恵ホーム…則之内）に勤める山本笑美子さんが、平成30年度社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞し、12月25日に加藤市長より表彰状が伝達交付されました。多年にわたり社会福祉の発展に寄与し、その功績が特に顕著に認められたことで受賞に至ったものです。山本さんは平成3年から22年度まで同施設で勤務し、定年後も同施設で継続して勤務されています。現在は他のスタッフと同様に通常業務をこなしつつ、後身の指導に尽くされているそうです。おめでとございます。



卒園を前に
川上幼で親子ふれあい行事



1月18日、川上幼稚園で卒園記念の親子ふれあい行事が行われました。同園では、卒園を間近に控えるこの時期に、毎年PTA役員の皆さんが主導でふれあい行事を開催しており、年長組の園児とその保護者らが参加して、ダンボール迷路を作成。それぞれがダンボールを切って扉や抜け穴などを作り、繋ぎ合わせた迷路は約1時間かけた大作となりました。早速遊び始めた園児たちは「めいろの中でおにごっこした」「お母さんと作れたのしかった」と振り返り、残り少ない園生活での思い出を作っていました。